

Ⅵ 次代の親の育成

1 思春期における健康教育の推進

現状と課題

性情報の氾濫などから、本県の平成15年度における未成年者の人工妊娠中絶実施率(10代の人工妊娠中絶年間件数を15歳～19歳までの女子人口千対で表した数)は18.6と、全国平均の11.9を上回っています。こうした中で、次代の親となるべき若者に対し、

性に関する正しい知識の普及や生命の大切さについての啓発等を行う必要があります。

また、次代の親となるべき若者の健全な成長のため、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止を図る必要があります。

施策の方向

思春期の若者に対して、性教育を含めた健康教育を進めるとともに、性に関する不安や悩みなどについての相談体制の整備を進めます。

また、未成年者の喫煙や飲酒の防止、覚せい剤、シンナー等の薬物乱用防止対策を進めます。

行動計画

1 思春期における健康教育の推進

健康教育に携わる関係機関や有識者による連絡協議会を開催し、県全体での健康教育の推進体制の整備を図ります。

健康教育G

健康教育についてモデル校を指定し指導法等についての研修を行うとともに、各学校の健康教育推進者に対する研修会を開催し、健康教育の充実を図ります。

健康教育G

精神科医、カウンセラー等の専門家を高等学校に派遣し、性教育の充実を図るとともに、生徒の心身の健全な発育を支援します。

健康教育G

思春期に特有な医学的問題や性に関する不安や悩みについて思春期相談ほっとライン等の個別相談・指導を行うとともに、性に関する正しい知識の普及のための講座を開催します。

子育て支援G

思春期保健に携わる医療・保健・教育分野等の関係者に対し専門研修を行い、資質の向上を図ります。

子育て支援G

親や大人が思春期の子どもと向き合い、性やいのちについて教え導くための学習の機会としてセミナーを開催するとともに、家庭教育資料を作成します。

社会教育G

エイズ・性感染症に関する相談事業を行い、正しい知識の普及を図ります。

医療看護G

「健康ふくしま21推進協議会」と協働し、関係団体等とともに、未成年者の喫煙防止対策や飲酒防止対策を進めます。

健康教育G

覚せい剤、シンナー等の薬物乱用を防止するため、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を推進し、青少年等への啓発活動を行うとともに、この活動の地域での中心となる薬物乱用防止指導員の活動を支援します。

薬務G

施策に関する指標

- 1 10代の人工妊娠中絶実施率
子育て支援G



- 2 精神科医、カウンセラー等の専門家の学校への派遣回数(累計)
健康教育G



- 3 薬物乱用防止教室受講者数
薬務G



2 家庭を築き子どもを生き育てるための環境づくりの推進

現状と課題

少子化対策のためには、次代の親となるべき若者に対し、男女が協力して家庭を築くこと及び子どもを生き育てることの意義についての教育や啓発を進める必要があります。

また、若者の失業率が悪化するとともに不安定就労や無業者となるケースが増加しており、若者が自立して家庭を持てるようにするため、安定的な就労ができる環境づくりを行う必要があります。

施策の方向

家庭を築き、子どもを生き育てることの意義について、あらゆる機会をとらえて啓発を行うとともに、若者に対する乳幼児とふれあうなど子どもや家庭の大切さを考える機会の提供を図ります。

また、新規高卒者の就職の支援を推進するとともに、不安定就労や無業となっている若者の安定的な就職について支援を行います。

行動計画

1 家庭を築き子どもを生き育てることの意義に関する教育・啓発の推進

「子育て週間」におけるイベントなどあらゆる機会をとらえて、家庭を築き子どもを生き育てることの意義に関する啓発を行います。

少子高齢社会対策G

小学校高学年や中・高校生を対象とした赤ちゃん講座や中・高校生等と乳幼児がふれあうための交流事業などを進めます。

子育て支援G

学校の授業の中で、親の役割や子どもを生き育てることの意義についての教育を進めます。

学習生活指導G

2 若年者の就業に対する支援

新規高卒者の就職希望の実現を図るため、各地区に就職促進支援員を配置し、各高等学校と公共職業安定所等との連携を図りながら、就職希望生徒への情報提供や面接等により就職指導の充実を図ります。

企画学力向上G、私立学校G

高等学校の生徒の勤労観・職業観の育成を図り、将来に向けて創造的な人材育成を図るため、企業におけるインターンシップの実施を推進するとともに、同様の取り組みを行う私立学校に対し助成を行います。

企画学力向上G、私立学校G

県内企業の採用担当者と就職希望の新規高卒者で就職未内定の生徒が一堂に会する就職面接会を開催し、就職内定の機会を提供することにより就職促進を図ります。

雇用対策G

小・中学校において、職場見学や職場体験等によるキャリア教育を推進します。

企画学力向上G

高等学校の教員を対象にキャリア教育に関する研修を実施し、キャリア・カウンセリングの基礎的な能力・技能の向上を図ります。 **企画学力向上G**

不安定就労や無業となっている若者の就職を支援するため、就職サポートセンターを設置し、きめ細かな就職相談や職業の紹介などを行うとともに、就職支援セミナーや企業で実際に仕事を体験してもらう事業等を行います。 **雇用対策G**

従来の普通職業訓練に加え、卒業後本格的雇用に至らない学卒者等若年者への就職支援策として、高等技術専門学校での教育訓練と企業実習を組み合わせた訓練をモデル的に実施し、若年者を一人の職業人として育成します。 **技能振興G**

若年者の就職が促進されるよう、企業側に対し働きかけを行っていきます。 **雇用対策G**

施策に関する指標

1 年長児童の赤ちゃん出会い等事業 実施市町村率 **子育て支援G**

